

西会津町地域公共交通ネットワーク協議会

平成20年3月21日設置
平成20年3月21日連携計画策定



概要

町内生徒の学習の機会確保と地域に根ざした独立高等学校として県立西会津高等学校を存続させるため、公共交通機関のない近隣町村への生徒送迎バスを運行し、入学者の確保を図る。

あわせて、高齢者等の交通弱者をはじめとした地域住民の生活の足としての利便性の向上に資するため、実証運行を踏まえた本格運行に対応すべく車両購入に取り組むものである。

○町民バス運行の経緯(Let's Go シャトル号)の運行

本町における直営バス運行は、平成13年度に乗合運行事業者が全面撤退したことを受け、平成14年4月より開始したものであり、現在町内を運行する路線数は43系統となり、ほぼ全域を網羅した交通体系が整備されている。

このうち、本事業を活用し運行することとしたのは、他町村を經由する「野沢・坂下線」である。

本路線については、廃線以来地域住民の要望もあったが、既存路線と関係などから再開の目途が立たない状況が続いていた。

○生徒送迎用バス運行の経緯と状況

本町唯一の高等教育機関である県立西会津高等学校は、入学者数の伸び悩みから、県立高等学校改革計画における分校化の対象校となることが懸念されていた。

このため、同校同窓会やPTA、町が対策を検討し、地域交通網の利便性の向上による近隣町村からの入学者の確保に取り組んだ。

このことにより、平成20年度14名、平成21年度8名の入学者を確保するに至り、分校化問題は解消された。

また、廃止路線の復活に伴い、総合病院等の医療機関利用者には喜ばれており、地域住民生活には不可欠な交通手段として定着しつつある。

運 行 ル ー ト



生徒等送迎バスの運行コース